

[4] 退職記念事業

中北 英一 先生 京都大学御退職

京都大学の定めにより、中北英一先生は、令和7年3月末日をもって定年退職されました。先生のご退職にあたり、最終講義を開催し、これまでの先生の研究についてご講義をいただきました。研究室の卒業生の皆様を中心に140名の関係者各位にご出席を賜りました。同日、同窓会や祝賀会を開催し、賑やかな会となりました。

最終講義

題目：「レーダーで見る降水系に魅せられて」

日時：2025年3月15日(土) 15:00～17:00

場所：京都大学宇治キャンパス おうばくプラザ きはだホール

4月27日(日)には、吉田キャンパスにおいて退職記念講演会を開催し、これまでの先生の研究や社会活動の成果、今後の研究の展望についてご講演いただきました。研究活動等でお世話になった皆様を中心に285名の関係者各位にご出席を賜りました。同日、祝賀会を開催し、華やかで活気のある雰囲気の中での祝賀の宴となりました。

退職記念講演会

題目：「土木工学と気象学の融合－人々の笑顔のために－」



日時：2025年4月27日(日) 13:30～15:30

場所：京都大学吉田キャンパス 百周年記念ホール

中北英一先生におかれましては、京都大学での永年の御功績をたたえますとともに、心から敬意を表します。先生の今後の益々の御活躍と御健勝をお祈りします。今後とも末永く御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。最後になりましたが、中北英一先生退職記念事業にご協力、ご支援いただきました皆様方に心より御礼申し上げます。

(水文気象工学分野)

## 杉浦 邦征先生 京都大学御退職記念事業

京都大学の定めにより、杉浦邦征先生は令和7年3月末日をもって定年退職されました。先生のご退職にあたり、京都大学桂キャンパスおよびオンラインにて最終講義を開催し、これまでの先生の構造工学・鋼構造・複合構造分野における研究の成果や実現象を理解するためにどの力学を選択すべきかについて御講演いただきました。会場99名、オンライン134名、合計233名の方にご出席いただきました。

### 最終講義

題目：「実験力学 vs. 構造力学 vs. 数値力学」

日時：令和7年3月6日(木) 15:00 ~ 16:30

場所：桂キャンパスCクラスター 191大講義室およびオンライン

### 退職記念祝賀会

また、6月7日(土)には、THE THOUSAND KYOTO 花鳥の間において退職記念祝賀会を開催いたしました。学内および学外の方々および研究室の卒業生を合わせて約190名の方にご出席を賜り、杉浦先生らしい和やかな雰囲気の中で祝賀の宴を開催することができました。当日の式次第は以下の通りです。

1. 開会挨拶 熊本大学教授 松村政秀 先生
2. 御来賓祝辞 京都大学大学院工学研究科長 立川康人 先生  
大阪公立大学特任教授 古田均 先生
3. 乾杯 名古屋大学名誉教授 伊藤義人 先生
4. 祝辞 法政大学教授 溝渕利明 先生  
関東学院大学教授・京都大学特定教授  
北原武嗣 先生
5. 記念品・花束贈呈 株式会社ナカノフード一建設  
大島義信 様  
国土交通省 諸橋亜美 様
6. 杉浦邦征先生 御挨拶



杉浦邦征先生は、現在、京都大学大学院地球環境学堂寄附講座「地球環境基盤の持続化デザイン論分野（上田記念財団）」の客員教授として、引き続き研究活動を推進されています。

杉浦邦征先生におかれましては、京都大学での永年の御功績と御尽力に感謝と敬意を表しますとともに、益々の御活躍と御健勝をお祈りしております。また、今後とも末永く御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。末筆になりましたが、杉浦邦征先生の退職記念事業に御協力、御支援いただきました皆様に心より御礼申し上げます。

(構造物マネジメント工学講座)

## クルース アナ マリア先生 京都大学御退職

京都大学の定めにより、クルース アナ マリア先生は令和7年3月末日をもって定年退職されました。先生のご退職にあたっては、最終講義を開催し、これまで各国を股にかけ歩まれてきた先生の暮らし方と研究業績、社会的な貢献について改めてご披露いただきました。

### 最終講義

「From soap factory engineer to "Natech queen": My journey around the world.」  
(石鹼工場技師から「ナテック・クイーン」へ:私の旅路)

日時：2025年3月3日(月)

時間：16:30～17:45

場所：京都大学宇治キャンパス おうばくプラザ きはだホール

### 退職記念懇親会

また同日18:00～20:30には、カフェレストランきはだにて、同期間に開催されたEU-Japan Workshop on Research Innovation in Support of Disaster Risk Reductionのレセプションも兼ねた、先生のご退職を祝す懇親会を開催いたしました。



ました。同会には、国内外から40名を超える同窓生や研究先の関係者等が集い、太鼓演奏やボサノヴァ・バンドの音楽が花を添えるなど楽しく温かい雰囲気のなか、先生の国際的な業績をたたえ、旧交を温め合う機会となりました。

クルース先生におかれましては、京都大学での永年の御功績と御尽力に感謝と敬意を表しますとともに、益々の御活躍と御健勝をお祈り申し上げます。今後とも末永く御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(災害リスクマネジメント研究室)

